

## 市内のごみ収集車が「こども110番のくるま」活動を開始

市は三原市清掃事業協同組合、三原警察署と連携し、市と同組合に加盟する委託業者のごみ収集車に、子どもが犯罪に巻き込まれるのを未然に防止する「こども110番のくるま」の役割を持たせ、今月3日から活動を始めます。

この活動では、ごみ収集車が地域を巡回する特性を生かし、子どもが登下校時などに事件に巻き込まれるのを未然に防ぐため、犯罪などの被害に遭う恐れのある子どもから救助を求められた場合、警察への通報や安全な場所への誘導などを行います。車両の両側には、子どもが見つけやすい高さ「こども110番のくるま」のステッカーを貼ります。

近年、全国で登下校中の児童などが犯罪被害に遭う事件が多発しています。



▲ごみ収集車に貼られる「こども110番のくるま」のステッカー

市は事業者と連携し、ごみ収集業務における社会貢献活動のひとつとして、子どもの安全確保に取り組みます。

### 環境管理課

☎0848・63・1210

## 産学官金連携による健康づくりラボの研究事業がスタート

先月20日、ペアシティ三原西館1階に「脳と体を鍛える健康づくりラボ」がオープンしました。同施設ではゲーム機器によるアミューズメント、運動機器によるフィットネス、利用者間のコミュニケーションの組み合わせが、認知症予防や高齢者の健康づくりに有効

かについて産学官金が連携して共同研究を行います。

研究期間は1年間で、事前に募集した市内の50〜70歳代、約60人が参加します。週2日、1時間半かけて脳と体をバランスよく鍛え、定期的に体力測定や認知機能の診断などを行います。

事業は県内を中心にアミューズメント施設を運営する株式会社プロバホールディングス、広島大学、県立広島大学、市と金融機関の産学官金が連携して行ないます。効果の検証に当たる広島大学大学院医歯薬保健学研究院の宮口秀樹教授は、「認知症予防、介護予防、娯楽や運動、コミュニケーションによる楽しさの創出を一体的に行い、健康づくりをめざす世界初の試みでは」と話しています。

市では、市民の皆さんの健康づくりや駅前のにぎわいにもつながる事業として期待しています。



▲トランプゲームで脳をトレーニングする参加者

### 経営企画課

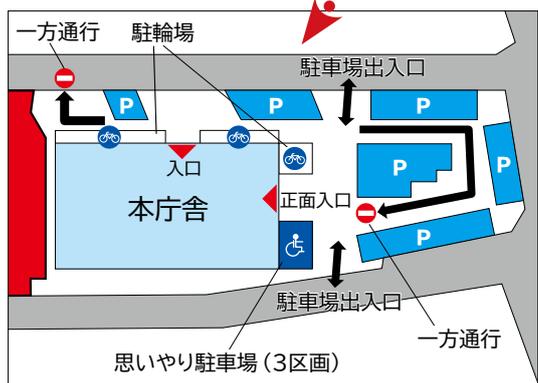
☎0848・67・6270

## 新庁舎建設通信② 議会棟の解体工事が始まります

新庁舎の建設に伴い、今月から議会棟の解体が始まります。工事は来年3月までを予定しています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

### ●本庁舎駐車場の利用方法が変わります

解体に伴い、今月下旬から議会棟周辺の駐車場がなくなります。正面入口周辺の駐車場を利用してください。場内は一部、一方通行になりますのでご注意ください。



## 市議会はゆめきりあセンターに一時移転

今月11日(火)から新庁舎開庁(平成31年5月を予定)までの間、市議会の機能をゆめきりあセンター(館町二丁目)に移転します。期間中、ゆめきりあセンターの利用は休止します。

☎庁舎建設担当室 ☎0848・67・6022  
☎議会事務局 ☎0848・67・6137